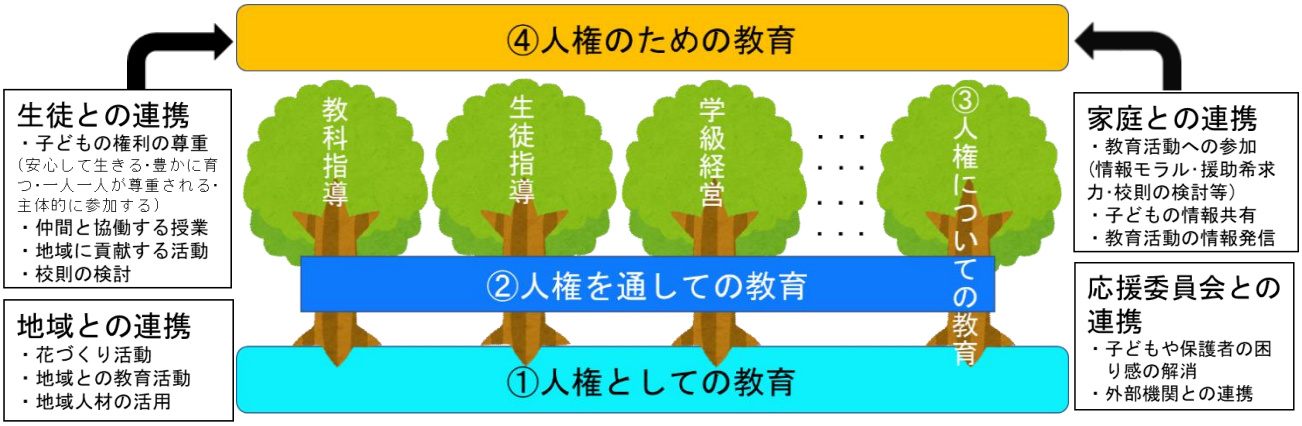
# 令和５年度　名古屋市立高針台中学校　グランドデザイン

＜学校経営方針＞

## 誰一人取り残すことのない学校づくり
## ～人権の視点を取り入れた教育活動を通して～




| | |
|---|---|
| ①人権としての教育<br>「教育を受けること」それ自体が重要な「人権」であるとして、教育の機会を保障し、自己実現を可能とする力を育てる教育<br>・ありのままの自分を認める気持ち（自己肯定感）<br>・キャリア教育<br>・スマイルルームの活用　等 | ②人権を通しての教育<br>教育活動において子どもの「人権」が守られ、かけがえのない存在として活躍できる環境が与えられる教育<br>・ありのままの存在を認める（基本的自尊感情）<br>・各種アンケート結果を踏まえた支援<br>・子どもの居場所がある学級経営や授業　等 |
| ③人権についての教育<br>子どもたちが「人権」についての理解を深めることに留まらず、学習を通して「人権」を守る気持ちや振る舞いを身に付け、問題解決のために行動できる力を育てる教育<br>・様々な人権課題に関する学習<br>・人権感覚の醸成　等 | ④人権のための教育<br>学校教育活動全体を通して、全ての人々の人権が尊重される社会を実現を担う人間として成長できる子どもを育てる教育<br>・子どもの権利学習<br>・SDGs学習<br>・地域に貢献する活動　等 |

＜学校努力点＞

## なかまとともに、主体的に、探求する生徒の育成
## ～単元を通して自分で決めて取り組む活動を通して～

〇なかまとともに
・安心して表現できるように互いの考えを「受けとめる」ことを大切にする。

〇主体的に
・自ら課題をもつことができる「予想」や「揺さぶり」等の工夫する。
・正解にとらわれない「自分で決めて取り組む」場面を単元を通して継続的に設定する。

〇探究する
・決めたことに取り組んだ結果を踏まえて自分の考えを導き出す。